

## 成果と課題及び指導改善のポイント

### 小学校社会（小学6年生）

#### 成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ 資料から、国の収入の半分以上を占めているのが税金だということを読み取ることができる 設問3(1)
- ◇ 刀狩令が出された目的を資料から読み取ることができる 設問6(1)
- ◆ 聖徳太子が十七条憲法を定めたことを理解している 設問5(1)

#### 小学校社会の課題を解決するための授業改善に取り組みましょう（☑していきましょう。）

- 歴史上の人物が行った政策の理解に課題が見られました。この課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
  - 歴史上の人物が行った政策の内容を個別に理解させるのではなく、政策を行った目的や社会に与えた影響を時代背景と関連付けて考えさせている。
  - 政策の特色や意味について考え、用語・語句を使ってまとめたり、互いに説明し合ったりするなど、表現する場面を設定している。

### 小学校理科（小学6年生）

#### 成果が見られた設問(◇)と課題が見られた設問(◆) 及び 出題の趣旨

- ◇ より妥当な考えをつくりだすために、月の形の見え方を分析して考察することができる 設問2(3)
- ◇ 実験結果から植物の体内の水の行方について、より妥当な考えに改善することができる 設問5(5)
- ◆ 水が氷になったときの体積変化を日常生活に適用することができる 設問3(3)
- ◆ 顕微鏡の適切な使い方を身に付けている 設問5(3)

#### 小学校理科の課題に対応した指導改善のポイント（☑していきましょう。）

- 学んだことを実際の自然の現象に当てはめて解釈したり、観察・実験器具の適切な使い方を捉えたりする設問に課題が見られました。これらの課題を解決するために、「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業を改善することが大切です。
  - 自然の事物（水道管の中の水）と要因（冷やされる）を明確にして考えたり、図を用いて自分の予想とその根拠を用いて互いに説明し合ったりする活動を取り入れている。
  - 観察、実験を行う目的を明確にして、器具を使う必要性を児童に実感させ、器具の操作手順や器具を使うよさを確かめ合ったり振り返ったりする活動を取り入れている。



正答表とセットになった「指導改善のポイントが分かる資料」も、併せてご覧ください。

集計結果

※「▼」は「要努力」を示す

	児童生徒数	正答率	無解答率	到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
県	7,383	60.7	0.4	53.2	

※ 県の結果には、「未履修：1なし」かつ「集計対象：1対象」で入力された児童生徒の調査結果が反映されています。

分類・区分別集計

分類	区分	対象設問数 (問)	正答率		無解答率		到達基準 (おおむね達成)	到達 状況
			県	県	県	県		
学習指導要領の 内容・領域等	物質・エネルギー	7	64.6	0.4	54.3			
	生命・地球	13	60.8	0.4	53.8			
評価の観点	知識・技能	5	58.0	0.6	60.0	▼		
	思考・判断・表現	14	61.7	0.3	50.7			
問題形式	選択式	14	64.8	0.1	55.0			
	短答式	1	66.1	2.6	70.0	▼		
	記述式	4	45.0	1.1	42.5			

※ 一つの設問が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の設問数を合計した数は、実際の設問数とは一致しない場合がある。

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の 内容・領域等				評価の観点	問題形式	正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		物質・エネルギー	生命・地球					県	県	県	県		
1	(1) 電流の大きさと電磁石の強さの関係を調べるための実験について、条件を制御しながら構想することができる	○				○		69.7		0.0	60		
1	(2) より妥当な考えをつくりだすために、電磁石の鉄心の太さを変えたときの実験結果を基に分析して考察することができる	○				○	○	69.3		0.3	50		
1	(3) 電流がつくる磁力をものづくりに適用することができる	○				○		73.6		0.0	60		
1	(4) 磁石と電磁石の性質の違いをものづくりに適用することができる	○				○		80.6		0.0	60		
2	(1) 方位磁針の適切な使い方を身に付けている		○			○		40.6		0.0	40		
2	(2) より妥当な考えをつくりだすために、月の見え方に関する複数の情報を関係付けながら、分析して考察することができる		○			○		60.6		0.0	50		
2	(3) より妥当な考えをつくりだすために、月の形の見え方を分析して考察することができる		○			○		73.7		0.0	40		
2	(4) より妥当な考えをつくりだすために、月の形の見え方と太陽の位置とを関係付けながら、分析して考察することができる		○			○		28.6		0.0	40	○	
3	(1) 燃焼の仕組みと呼吸の仕組みを日常生活に適用することができる	○	○			○		88.7		0.0	70		
3	(2) より妥当な考えをつくりだすために、冷やされた空気中の水蒸気と関係付けて結露を分析し、考察することができる		○			○	○	40.6		1.7	40		
3	(3) 水が氷になったときの体積変化を日常生活に適用することができる	○				○		28.9		1.8	40	○	
4	(1) 魚の雌雄では体の形状が異なることを理解している		○			○		69.0		0.0	70	○	
4	(2) メダカと人の成長の様子を調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析することができる		○			○		74.0		0.0	70		
4	(3) 水の温まり方を、水槽の中の水を温めることに適用することができる	○				○		41.2		0.5	40		
5	(1) 植物の水の通り道を理解している		○			○		76.0		0.1	70		

設問別集計結果

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容・領域等					評価の観点			問題形式			正答率		無解答率		期待正答率 (おおむね達成)	課題が見られる設問
		物質・エネルギー	生命・地球				知識・技能	思考・判断・表現		選択式	短答式	記述式	県		県			
5	(2)	蒸散を理解している	○					○					66.1		2.6	70	○	
5	(3)	顕微鏡の適切な使い方を身に付けている	○					○					38.5		0.2	50	○	
5	(4)	植物の体内の水の行方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することができる	○					○					60.0		0.1	40		
5	(5)	実験結果から植物の体内の水の行方について、より妥当な考えに改善することができる	○					○					74.3		0.1	50		